



—北アフリカ地域ニュース—

リビア：ロシアのラヴロフ外相の発言

(17日付ロシア報道)

17日付ロシア報道によれば、同日行われたヤーグラン欧州評議会事務総長との会談後の記者会見で、モスクワで行われたリビア政権代表者との会談の様子を問われ、ラヴロフ露外相は次のように発言した。

1. 本17日、「イスラムの呼びかけ」組織の事務総長がモスクワを訪問し、自分（ラヴロフ外相）と会談を行った。ロシア側は、この会談の中で、リビアにおける流血の事態を速やかに停止する必要があるという信念に基づく、ロシアの立場から見た場合に生じる一連の問題を提起した。
2. 我々は、リビア指導部が、国連安保理決議を完全に履行することを明確に表明し、実行する必要性を提起した。これら決議は、一般市民に対するいかなる武力行使も停止するよう求めている。また、ロシアはリビア側に対し、国連安保理決議を履行する目的でAUによって提案されているロード・マップへの同意を具体化するように求めた。
3. ロシアは、リビア政府の代表者との会談において得た回答に満足している。我々が受け取った回答は、決してネガティブなものではなかった。リビア側は我々に対し、リビア政府はAUのロード・マップに基づくアプローチを検討する用意があり、（安保理）決議1973を完全に履行する用意があると述べた。
4. 他方、リビア政府は、反政府勢力も同様に対応すること、およびNATOが爆撃を停止することを求めている。当然、これは、ハティーブ国連特使が解決しようと取り組んでいる課題でもある。
5. 我々は、リビア全領土への人道支援の提供に当たって国連と協力するよう、リビア政権に対して求めた。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799